

調査概要

- **調査テーマ**
中高の英語指導の実態と教員の意識
- **調査方法**
郵送法による質問紙調査
- **調査時期**
2015年8～9月
- **調査対象**
全国の中学校・高校の校長および英語教員

【中学校】

校長 717名（配布数2,639通、回収率27.2%）
英語教員 1,801名（配布数7,917通、回収率22.7%）

【高校】

校長 435名（配布数1,059通、回収率41.1%）
英語教員 2,134名（配布数6,354通、回収率33.6%）

* 抽出方法

全国の中学校・高校のリストより、都道府県の教員数に応じた抽出確率で無作為に学校を抽出。校長調査は、中学校・高校ともに校長に回答を依頼した。教員調査は、中学校は各学校最大3名の英語教員に回答を依頼。年齢、性別、担当学年などがなるべく偏らないように配慮していただいた。高校は各学校最大6名のコミュニケーション英語（基礎・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲのいずれか）を担当している英語教員に回答を依頼。年齢、性別、担当学年がなるべく偏らないように配慮していただいた。

● 調査項目

【校長調査】

英語教育における他校との連携／英語関連の行事／校内研修／英語教育改革についての意見、など

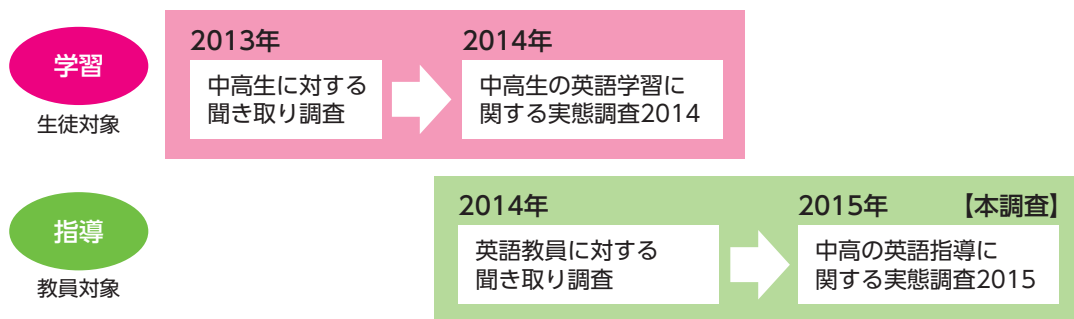
【教員調査】

授業の内容／英語使用割合／授業における教員の英語使用場面／宿題／授業の振り返り／将来の英語の必要性と生徒の英語使用／指導する際に重要なことと実行すること・実行していること／受けたい研修／自己研鑽／小中（中高）連携／生徒のつまずき／悩み／授業で大切にしていること／指導に影響を与えていること／「CAN-DOリスト」の形の学習到達目標の設定について／「授業を英語で行うことを基本とする」ことについて／大学入試の4技能測定について、など

* 図表で使用している百分率（%）は、小数点第2位を四捨五入して算出している。四捨五入の結果、数値の和が100.0にならない場合がある。

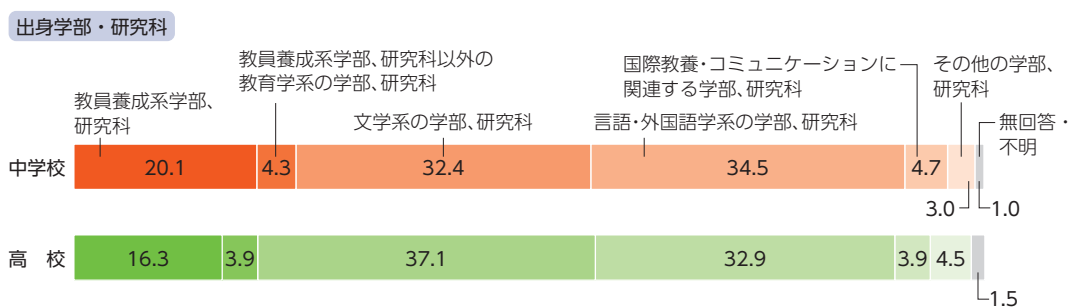
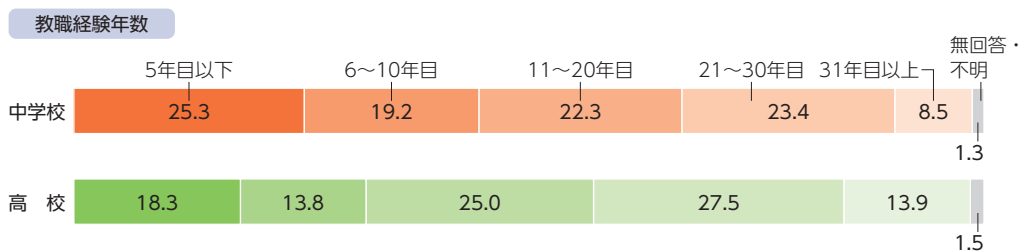
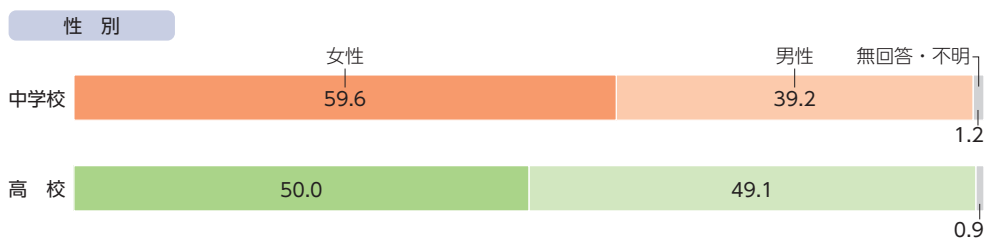
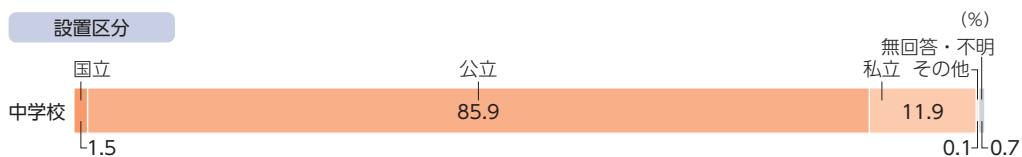
調査の枠組み

- 本調査の設計は、これまで実施した学習面と指導面の両面を捉える量的研究と質的研究を踏まえ行っている。



※「中学生に対する聞き取り調査」「中高生の英語学習に関する実態調査2014」の結果は、「中高生の英語学習に関する実態調査2014」速報版をご参照ください。WEBサイトで閲覧できます。

基本属性



* 基本属性は教員の回答を示している。

* 「教職経験年数」は、「11～20年目」は「11～15年目」「16～20年目」の合計。「21～30年目」は「21～25年目」「26～30年目」の合計。「31年目以上」は「31～35年目」「36年目以上」の合計。